

新型コロナウイルス感染症拡大に対する支援策（文化芸術関係）

- ① 京都市文化芸術活動緊急奨励金（3億円）
- ② 本市所管文化施設の利用キャンセルに伴う利用料の還付（2月～9月分）（2億3,840万円）
- ③ 文化芸術総合支援パッケージ〔相談窓口，ホームページ，まちじゅうアートフェスティバル，ふるさと納税型クラウドファンディングを活用した文化芸術活動の再開支援〕（2億3,000万円）
- ④ 感染拡大防止と文化芸術活動の両立支援補助金（1億7,000万円）
- ⑤ 文化施設（京都芸術センター及び京都市美術館）の感染拡大防止対策（3,600万円）
- ⑥ 一時閉鎖期間中の維持管理経費（指定管理者への支払い）（4,290万円）

①～⑥の総額：**10億1,730万円**（財源：一般財源 4,500万円，国庫 9億230万円，寄付金 5,000万円，基金繰入（CF）2,000万円）

京都市文化芸術活動緊急奨励金



➤ 感染症予防を行いながら実施する文化芸術活動を支援

募集期間 2020年5月7日～ 5月17日

交付金額 上限30万円

応募総数 1,071件

採択件数 採択：926件
追加採択※：85件 } 1,011件

※ 追加採択は、予算を増額したことに伴い、申請要件を満たす活動について上限20万円を交付するもの。

申請者 個人856人， 団体215組

申請分野 ①美術， ②音楽， ③演劇， ④舞踊， ⑤写真
(上位5ジャンル)

申請部門 表現部門683件， 技術・マネジメント部門98件，
複合部門285件， 不明5件

京都市の芸術家等の活動状況に関するアンケート調査



回答期間 2020年5月7日～5月20日

調査対象 ①京都市内に居住あるいは拠点をもつ芸術家及び文化芸術を支える個人
②京都市を拠点または市内で活動をする文化芸術活動に関わる団体・事業所

調査方法 インターネット調査（一部、郵送調査）

回答数 1,476件（有効回答1,402件）
うち 個人：1,184件（有効回答1,122件）
団体・事業所：292件（有効回答280件）

調査設計・分析協力

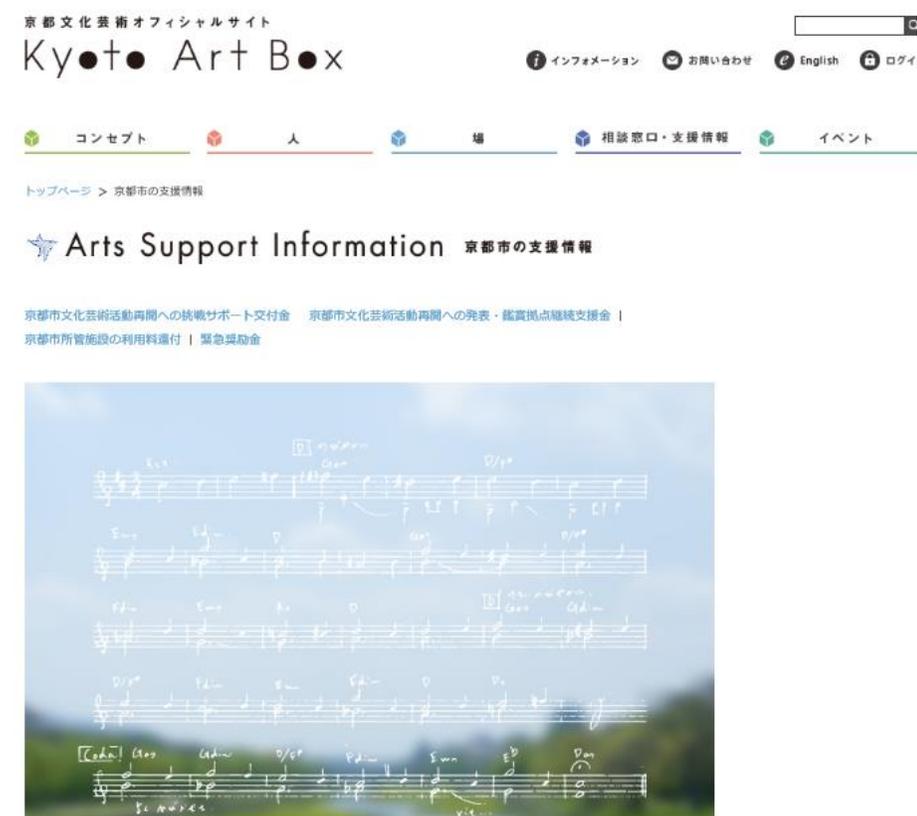
大澤寅雄（ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室主任研究員，NPO法人アートNPOリンク理事）
中川眞（大阪市立大学都市研究プラザ特任教授）
樋口貞幸（大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員）
吉澤弥生（共立女子大学文芸学部教授）

報告書発行 京都市，京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）

※詳細は<http://kyoto-artbox.jp/covid19-survey/>

支援情報の発信

京都文化芸術オフィシャルサイト「Kyoto Art Box」を充実したほか、文化芸術関係者向けリーフレットを発行し、市・府・国をはじめ、民間団体等が実施する文化芸術関係者向けの支援情報を一元的に発信。



Kyoto Art Box

文化芸術関係者の皆様に向けた各種支援のご案内 (2020年7月15日現在)

※最新の情報や他の支援制度についてはホームページで御確認ください
 (京都市文化芸術企画課 HP)

個人・フリーランスの皆様			
種別	お困りの内容	支援策	問合せ
文化芸術活動に関する補助	文化芸術活動を継続・再開したい	最大200万円 (応募の中から10件程度の事業を採択し、京都市がクラウドファンディングを実施。最大100万円を京都市が同額を上乗せして交付) 最大20万円 (応募する機嫌に均等割りて交付) (京都市がクラウドファンディングを実施。最大100万円を京都市が同額を上乗せして交付) 最大20万円 (申請対象施設から京都市の補助金も取込した際の2/3以内) 活動費支援 最大20万円 より積極的な取組を行うことで最大150万円	京都市文化芸術総合相談窓口 (京都市文化芸術センター10階相談室、京都市文化芸術センター10階相談室) 内 ☎: 075-252-2162 (毎日10:00~18:00) ✉: ask@kyotoartsupport.com
	施設利用を中止したい	キャンセルに伴う利用料を全額還付 (利用予約をされている京都市所管の各施設まで)	京都市文化芸術総合相談窓口 ☎: 075-252-2162 (毎日10:30~17:00)
	売上が半減し活動が継続できない	持続化給付金 (フリーランスも個人事業主)	相談センター ☎: 0120-115-570 (受付: 10:00~18:00)
	家賃の支払いが難しい	家賃支援給付金 (最大300万円)	家賃支援相談センター ☎: 0120-620-930 (受付: 10:00~18:00)
	収入減で借入を失せそう	住居確保給付金 (原則3カ月、最長9カ月の家賃相当額を支援)	京都市社会福祉協議会 ☎: 075-354-8748 (受付: 075-354-8776)
	収入減で生活が厳しい	緊急小口資金・総合支援資金 (最大80万円以上)	京都市社会福祉協議会 ☎: 075-354-8748 (受付: 075-354-8776)
	収入減で保険料が払えない	国民健康保険料、国民年金保険料、介護保険料等の減免	京都市社会福祉協議会 ☎: 075-354-8748 (受付: 075-354-8776)
	生活が苦しく税金が払えない	国税・市税の納税猶予 公共料金の支払い猶予	国税・市税の納税猶予 ☎: 0120-327-363 (受付: 10:00~18:00)
	生活が苦しく税金が払えない	電気・ガス・水道等の公共料金の支払い猶予	京都市社会福祉協議会 ☎: 075-354-8748 (受付: 075-354-8776)
	売上で半減し活動が継続できない	持続化給付金 (最大200万円)	相談センター ☎: 0120-115-570 (受付: 10:00~18:00)
家賃の支払いが難しい	家賃支援給付金 (最大600万円)	家賃支援相談センター ☎: 0120-620-930 (受付: 10:00~18:00)	
雇用を維持できない	雇用調整助成金 (最大100%)	京都市社会福祉協議会 ☎: 075-354-8748 (受付: 075-354-8776)	
事業再開に向けた投資をしたい	持続化補助金 (最大150万円)	京都市文化芸術総合相談窓口 ☎: 075-252-2162 (毎日10:00~18:00)	
売上で減り税金が払えない	実質無利子・無担保融資 2年間無利子借付5年償還元本減免	京都市文化芸術総合相談窓口 ☎: 075-252-2162 (毎日10:00~18:00)	
売上で減り税金が払えない	国税、市税、社会保険料の納付猶予 固定資産税、都市計画税の減免	京都市文化芸術総合相談窓口 ☎: 075-252-2162 (毎日10:00~18:00)	

リーフレット (中面)

京都市文化芸術総合相談窓口



2020年7月21日
京都芸術センター内に開設

3名の相談員を配置

約400件の相談（メール，電話，面談等）
を受ける（2020年10月末現在）

2020年9月20日
「文化芸術関係者向け京都府・京都市合同
相談会」を実施し60名の相談に応じた

【文化庁 文化芸術活動の継続支援事業】
申請書の書き方サポート」相談会を2回
実施している

京都市文化芸術活動再開への挑戦サポート交付金



- アーティストが取り組むプロジェクトを応援するため
ふるさと納税型クラウドファンディングを実施

(目標額：956万円 京都市からも原則として同額を上乗せ)

<https://readyfor.jp/projects/kyotocityartproject2020>

募集期間 2020年7月22日～8月21日

交付額 上限200万円

応募総数 106件

採択件数 11組

参画団体
黒田大スケ (美術)
金サジ (美術)
田中遊 (正直者の会) (演劇)
柳雄斗 (演劇)
OPEN KITCHEN：代表 永守伸年 (美術他)
ゴータ企画 (舞踊)
杵屋勝七郎 としひろ会 (伝統芸能)
一般社団法人ANTIBODIES Collective (舞踊)
佐藤 響／河村 浩太郎 (音楽・伝統芸能)
原将人 (映画)
たきいみき (演劇)

クラウドファンディング実施期間

2020年9月18日～11月13日

京都市文化芸術活動再開への発表・鑑賞拠点継続支援金



- ▶ 京都の文化芸術を支える拠点（施設）を支援するため
ふるさと納税型クラウドファンディングを実施

（目標額：1,000万円 京都市からも原則として同額を上乗せ）

<https://readyfor.jp/projects/kyotocityartspace2020>

募集期間	2020年7月22日～8月18日
交付額	支援金を参画施設に均等に配分
応募総数	80件
採択件数	75施設（3件辞退，2件要件不備）
参画施設	劇場 8 映画館 2 ライブハウス・クラブ 17 ギャラリー 29 能楽堂 5 歌舞練場 5 その他 9

クラウドファンディング実施期間
2020年9月18日～11月13日

オンライン配信サポート

オンラインで やってみよう!

参加無料

全4回

ウィズコロナ時代の文化芸術のための連続講座

オンライン技術を中心に

ウィズコロナ時代新しい生活スタイルとして、そして新たな表現・鑑賞方法として、「オンライン」の注目が高まっています。この度、京都市では、文化芸術活動にオンラインを活用するために必要となる基本的な知識や技術が学べる連続講座を企画します。オンラインを使った活動を始めてみたい方、改めて価値から確認したい方、習ってご参加ください!

定員 各回100名 (オンライン70名、現地30名)

会場 京都芸術センター
〒604-8154 京都市中京区東町通御下6山崎1町546-2

オンライン 70名 **現地 30名**

第1回 11/17 講座I
18:30~20:30 (申込18:00)
オンラインツールを使ってみよう
ビデオ会議ツールを使って、文化芸術関係者がレッスン(習いごとや教室等)をオンラインで配信する方法を学びます。
講師 東 健史 (独立行政法人文化庁文化芸術振興センター)

第2回 11/20 講座II
18:30~20:30 (申込18:00)
資金計画を立てよう
オンライン配信の際の資金計画の立て方をはじめ、専事収入やその他の資金調達手法(交付金・補助金、金銭、寄付/クラウドファンディング等)について学びます。
講師 高田 佳典 (独立行政法人文化庁文化芸術振興センター)

第3回 12/22 講座III
18:30~20:30 (申込18:00)
文化芸術に求められるバックオフィス知識を身につけよう
オンライン配信に必要な著作権等の法律面について学びます。また、鑑定申請から列注等の契約まで、文化芸術関係者が最低限取り巻くべきバックオフィス業務を学びます。
講師 原田 智子 (独立行政法人文化庁文化芸術振興センター) / 田中 慎也 (独立行政法人文化庁文化芸術振興センター)

第4回 令和2年 12/23 講座IV
18:30~20:30 (申込18:00)
オンライン有料配信イベントを企画しよう
ウィズコロナ時代に向けた最新の一歩を踏み出すため、有料オンライン配信イベントの作り方を学びます。
講師 谷田 晴也 (CARIBBEAN CAFE 代表)

※開催内容の都合によっては、開催方法が変更中止となることもあります。

▶ オンライン公演モデル事業

事業目的 コロナ禍において注目されるオンラインを活用する文化芸術関係者を支援し、鑑賞者にとっても新たな文化芸術の楽しみ方の可能性を探る

事業概要 以下の事業一式
①オンライン配信サポート②実験プログラム③アンケートの分析・公開④ノウハウの公開

採択件数 4件
・11月5日 京都市交響楽団メンバーによるアンサンブル「京都しんぷおにえった」実施済 (他3件調整中)

▶ オンライン技術に関する連続講座

概要 オンライン配信の基本的な知識・技術に関する全4回の講座を実施

募集人数 各回 京都芸術センター (30名), オンライン (70名)

申込期間 令和2年10月13日~11月4日

実施内容 ①11月17日「オンラインツールを使ってみよう」実施済
②11月20日「資金計画を立てよう」
③12月22日「文化芸術に求められるバックオフィス知識を身につけよう」
④12月23日「オンライン有料配信イベントを企画しよう」

感染拡大防止と文化芸術活動の両立支援補助金



➤ 施設使用料等補助

概要 施設使用料及び附帯設備使用料の半額を補助
(上限40万円/日, 最大5日間・200万円)

対象事業

- ・令和2年10月1日～令和3年3月31日に行うもの
- ・京都市内の対象施設で広く市民に文化芸術の鑑賞機会を提供する事業
- ・業種別ガイドライン等に基づき, 適切な感染症対策を実施し, 不特定の者を集客するもの

対象施設 公立施設及び民間施設 (民間施設は登録制)

➤ 感染拡大防止等経費補助

概要 実演芸術や映画撮影など複数の者で制作する文化芸術活動に対して感染拡大防止等経費の1/2を補助
(上限50万円, 1団体・1個人につき1件限り)

対象事業

- ・令和2年10月1日～令和3年3月31日に感染症対策を行いかつ不特定の者の集客を目的とする文化芸術活動
- ・市内において複数の者が参加して行う公演, 撮影, 展覧会, 制作等の準備・実施

対象経費 感染症対応のための研修会, マニュアル作成, アルコール消毒液等消耗品, 消毒や検温等を行うスタッフの人件費等